

授業科目名	共生研究	単位数	4単位
担当教員名	基幹教員	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP1.多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけることができる(貢献力)  DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知)  DP3.自分の専門以外の領域からも得られた知見を統合することができる(統合知)  DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)  DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>共生研究は、星槎大学での学修の集大成となる卒業科目のひとつです。共生研究では、指導教員による指導の下、共生・共生科学に関するテーマについて研究を行い、その成果として5000字程度以上の共生研究論文あるいは共生研究論文とそれに関連する制作物を作成し、共生・共生科学について論じる姿勢を身につけることを目標とします。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>共生研究は年間2回(5月と11月)のスクーリングを通して、共生・共生科学について、学生同士でディスカッションを深め、その成果を踏まえて、最終的には指導教員の指導の下、共生研究論文(5000字程度)あるいは共生研究報告書(2000から5000字程度)とそれに関連する制作物の提出を目指します。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:共生研究の準備①:動画教材「共生研究ガイダンス」を視聴する。  第2回:共生研究の準備②:動画教材「共生科学について」を視聴する。  第3回:共生研究の準備③:動画教材「研究倫理」を視聴する。  第4回:共生研究の準備④:動画教材「文献検索」を視聴する。  第5回:共生研究の準備⑤:動画教材「大学図書館の活用」を視聴する。  第6回:共生研究における研究スケジュールの確認  第7回:共生研究のテーマの検討:自分の問題意識・関心を整理し、共生研究のテーマの概要を検討する。  第8回:研究計画案を立てる:動画教材「研究の進め方」を視聴するとともに、研究テーマに関連する文献を検索し、リサーチクエスチョンを導出する。  第9回:共生・共生科学のディスカッション①:ミニプレゼンに参加する:ミニプレゼン(スクーリング)にて共生・共生科学について議論を深める。  第10回:研究計画を立てる:共生研究の研究動機と研究目的を定める。  第11回:先行研究等の調査・分析①:動画教材「文献研究について」を視聴する。  第12回:先行研究等の調査・分析②:研究テーマに関連する先行研究等を調査・収集する。  第13回:先行研究等の調査・分析③:収集した先行研究等を読み進める。  第14回:先行研究等の調査・分析④:収集した先行研究等を要約する。  第15回:先行研究等の調査・分析⑤:収集した先行研究等の関係を整理する。  第16回:ミニプレゼンの準備①:動画教材「ミニプレゼンの仕方(仮)」を視聴する。  第17回:ミニプレゼンの準備②:ミニプレゼン用のスライドを作成する。  第18回:共生・共生科学のディスカッション②:ミニプレゼンを通して共生・共生科学について議論を深める。  第19回:ミニプレゼンの省察①:ディスカッションの成果および指導教員からのコメントを受けて全体的な見直しを行う。  第20回:ミニプレゼンの省察②:共生研究論文に必要な先行研究等について、追加の調査・分析を行う。  第21回:共生研究論文の下書き①:動画教材「レポートに求められるスタイル①」を視聴する。  第22回:共生研究論文の下書き②:動画教材「レポートに求められるスタイル②」を視聴する。  第23回:共生研究論文の下書き③:動画教材「引用の記述について」を視聴する。  第24回:共生研究論文の下書き④:動画教材「論文の構成(仮)」を視聴する。  第25回:共生研究論文の下書き⑤:論理構成にもとづき執筆する。  第26回:共生研究論文の推敲①:学生自身で論理的に構成できているか推敲を行う。  第27回:共生研究論文の推敲②:指導教員からのコメントを受けて全体的な推敲を行う。  第28回:共生研究論文の推敲③:共生あるいは共生科学についての結論をまとめる。  第29回:共生研究論文の推敲④:指導教員の最終確認を受ける。  第30回:共生研究論文の提出</p>			
<p>スクーリングでの学修</p> <p>スクーリングは、研究ガイダンス、ミニプレゼン、研究指導で構成されています。多領域のミニプレゼンに参加し、共生・共生科学についてディスカッション・対話を深め、自身のこれまでの研究成果を省察します。</p>			
<p>テキスト</p> <p>資料を配布します。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>別途、指示します。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>スクーリング評価(50%)、共生研究論文または共生研究制作・報告書(50%)</p>			